

# 情報活用能力を育てるために

～国語科の実践を通して～

## 1 はじめに

これまで、自分の情報教育を進めていくうえの取り組みを振り返ると、情報機器の操作の習得に重点を置いてきたと反省する。児童にとって、身近な情報機器として、いろいろな学習場面で使えるようにしていくことも大事ではあるが、情報活用能力の育成という観点からは総合的な学習以外にも、特に国語で育てていく必要があると感じている。

6年国語の単元『伝えたい「何か」を見つけよう』では、情報教育としての内容が多く入っていると感じているそこで、情報教育との関係を考えながら実践してみた。

## 2 実践の概要

(1) 単元名 伝えたい「何か」を見つけよう

(2) ねらい

- ・筆者が伝えたいことを読み取り、自分の考えを深める。
- ・友達と話し合っ、伝える相手や方法を決め、必要な情報を集めて自分の意見をまとめ、発信する。

(3) 指導計画

時数	主な学習事項	学習活動	○情報教育との関連 ◇留意事項
1 2 3 4	◎書かれている内容について、事象と筆者の意見、伝えたいことの関係を押し、自分の考えを持ちながら読む。 (読エ)	1 学習の流れをつかみ、これからの社会について話し合う。 2 「平和のとりでを築く」を読み、自分の考えを持って交流する。	
5 6 7 8 9 10 11 12	◎課題に対する取り組みを計画的に話し合う。 (話・聞ウ) ・未来の社会についての自分の意見をまとめる。 (書ア) ◎全体を見通して、収集した材料から必要のある材料を選び、整理する。(書イ) ◎自分の考えを明確にするため、全体の組み立てを考える。 (書ウ) ◎自分の考えを広げたり深めたりするために必要な資料を読む。 (読アオ)	3 自分の意見を伝える。 ・グループでの交流を参考に、自分のテーマを絞る。 ・伝えたい相手と伝える方法を決める。意見発表会につながるようにする。 ・図書資料やインタビュー、アンケート、インターネットなどを利用して、必要な情報を集める。 ・発表原稿に自分の意見をまとめる。 ・スライドの組み立てをワークシートにまとめる。 ・組み立てを考えて文章を書き、写真や統計資料なども活用する。 4 発表会を開く。 ・全体の流れや役割分担を考え、準備をする。 ・発表会を開く。 5 学習を振り返る。 ・記録を確かめる／感想を書く。	◇ここでは、学級内で発表会を行う。 ○総合学習での情報教育との関連をはかる。(発表名人を使ったプレゼン) ○インターネットの利用では、自分のテーマに即したホームページのショートカットをフォルダに入れて集める。 ○情報の出所を明らかにする。(その情報が信頼できるものであるか)  ○プロジェクターでスマートボードで投影し、分かりやすく説明できるようにする。 ◇友達から、発表を評価してもらう。

#### (4) 実践の概要

自分の考えを発信しよう。という課題に対して、児童は自分のこれまでの活動や経験を振り返りテーマを設定した。今回は発信する相手は教室内の友達であること、発表方法は、「発表名人」を使って分かりやすく伝えることを告げた。「発表名人」の操作については、当校の総合的な学習の時間でPCワールドという情報教育の時間で操作方法を学んでいる。PCワールドの時間では、新津のガイドブック作りに取り組みさせ、総合の発表でも使ったことがあり、児童にとっても、操作に慣れ親しんでいる物である。ここでは、総合との関連を図った。

児童のテーマとしては、福祉、環境問題、ボランティア地震の被害についてが候補に上がった。

情報収集としては、主に、インターネット、図書室の資料、インタビュー、アンケートを利用した。インターネットを活用する場合には、目的のホームページを検索し、自分の作ったフォルダにホームページへのショートカットをどんどん作らせて、資料集めをさせた。後のスライド作成の時にその資料が活用できるように知らせておいた。その資料から、本当に自分の必要な資料を選択して使えるようにさせた。

資料を暑め、調べて分かったことをもとに発表原稿を作る活動に取り組みさせた。そして、表・グラフ・図・写真をスライドに取り込むことで相伝える相手に説得力を持たせられるように、スライド原稿をワークシートにまとめさせ計画的に見通しをもって取り組めるようにした。

児童は、探し当てたホームページの写真や図、また、図書室の資料などを写真に撮り、スライドに取り込んでいった。コンピュータで写真を取り込むような作業は、PCワールドの時間で技術的には習得しているので進んで取り組める児童が多かった。

スライドができあがると、グループ内で中間発表をさせた。この活動を取り入れることで、発表自体がわかりにくい所や、資料が発表と合ってなかったり、足りない所が出てきたりしてきた。ここで、再度発表原稿、スライドを修正し、全体発表を行った。全体発表では、プロジェクターでスマートボードに投影し、分かりやすく発表できるようにした。このスマートボードは、直接映写されているボードにふれて操作できるという利点があり、コンピュータの画面を見て、マウスで操作するよりも簡単に発表でき、分かりやすく説明しようとする姿が見られた。発表の際には、友達からの評価も取り入れた。

### 3 活動を振り返って

#### ○情報の収集について

インターネットからの情報収集は、これまでの教科、総合的な学習の時間で多く取り組んできたので、児童は慣れ親しみ多くの情報を集められるようになってきてはいる。しかし、その多くの情報の中から、自分にとって、または相手に説得力を持たせるような資料を選び出す作業は、今回の実践でも難しかった。また、集めた資料を丸写しするのではなく、自分の言葉におきかえようと指示を出してもなかなかできない児童がいた。情報を収集し、判断させていく活動を重点的に取り入れていく必要があると感じた。

#### ○発信・伝達について

今回は、発信がメインとなったが、情報機器を活用して分かりやすく発表しようとする姿が多く見られるようになってきた。これまで、教科や総合的な学習で発表を取り入れてきたが、図や写真を入れることで分かりやすく説明しようとしていた。ワークシートにスライド原稿を書かせたことで見通しをもって取り組めたこともよかった。

今回、スマートボードを利用したことで、直接指し示したり、印を付けて発表したりして、より相手に内容を伝えようとする姿が見られた。

小グループ内で中間発表を行ったが、ここでは、内容よりも声の大きさ、読むスピードなどが指摘されることが多かった。この中間発表会を取り入れることでより相手に分かりやすく伝えようという意欲を高めることができた。

### 4 まとめ

この単元で目指すのは、国語科での本単元のねらい達成と情報活用能力の育成の2つである。国語のねらいそのものとしてズバリのねらいもあるが、そのねらいに到達する物として情報活用能力を構成するねらいが含まれていると感じている。

国語では、このような単元が各学年にあり、まるで総合的な学習のようだと感じている。国語の中で、情報教育が特に大切にされていると今更ながらに感じる。他の教科や総合的な学習の時間でもより意識しながら取り組んでいきたい。